

大麻の被害が
皆無だった日本は



悪

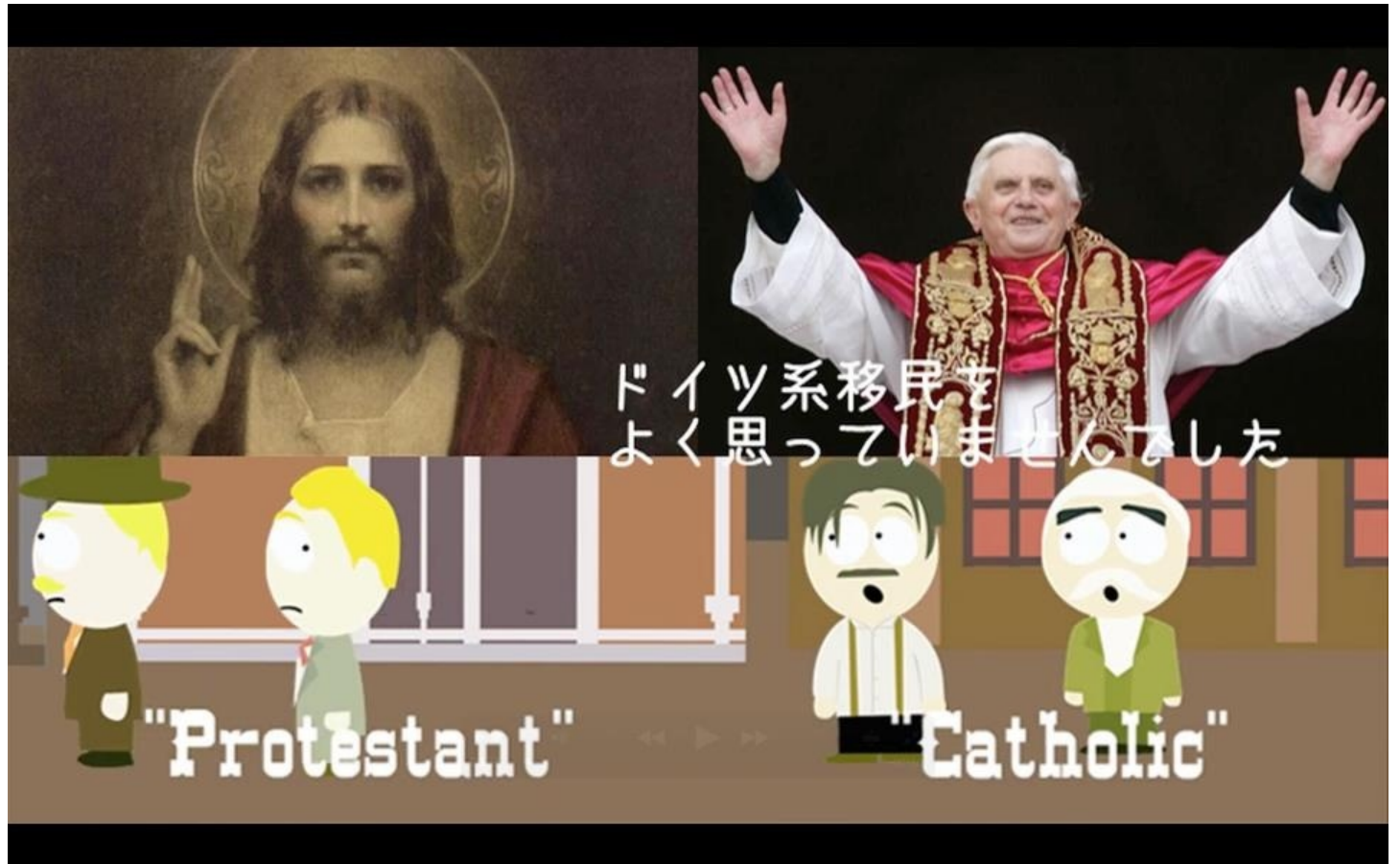




西部開拓も一段落したアメリカ・・・

イギリス系の移民達は

Early 1900s MAINE





ドイツ人のように強い酒ばかり飲むと





ドイツ人が独占していたのも
対立の原因でした





そうこうしているうちに、第一次世界大戦が始まり



反ドイツ人感情が さらに高まっています

1919年、ついに制定された



「禁酒法」の背景には



宗教や差別、



政財界の思惑が
影響していました



実はこの「禁酒法」、最初のうちは



ウイスキーは
駄目だけど



**THIS
IS
MY
BLOOD**

ワインはOK!

だったんです



あんた達ブルジョアは
ワインで満足だろうがな



お前らの都合で法律を作るのが
アメリカの自由なのか!?





不条理な法律に国民は反発

A black and white photograph of a massive crowd of people, likely at a political rally or patriotic event. The crowd is dense, filling the entire frame, and many individuals are holding up small American flags. The scene conveys a sense of collective celebration and national unity.

「国には、
個人の幸せに





国民の欲求に
応えたのは

ギャングの
アル・カポネ

彼は酒を
密輸し続け、

街には違法バーが
乱立しました





ギャングは増え続け





ほとんどの国民が法を犯し



増加した捜査官は



禁酒法が廃止になり、解雇の危機に





その頃、アメリカは
工業国として
成長し続けていました



石油化学産業が
誕生したのも
この時期でした



そこで、仕事を求め
ヒスパニック系移民が
流れ込みます



ダウンタウンに住み
働き始めた移民たち。



貧乏な彼らはタバコを買えず、



安いマリファナを吸っていました



Dizzy Gillespie



Shidney Bechet



Cab Calloway

マリファナは、
ジャズミュージシャンの間でブームとなり



流行はニューオリンズから
全米へと広がります



"You like them FRESH?
So do I!"



一方、白人社会では
タバコが大人気



安いマリファナなど選ぶ必要もなく



メキシコ人や
黒人を
差別していた





一部の
アメリカ人は







デュポン社 石油化学分野で特許取得へ



1920年代から 急速に発展した
石油化学産業



様々な製品が
石油から作られるようになります



一方、
綿花やパルプに押されながらも



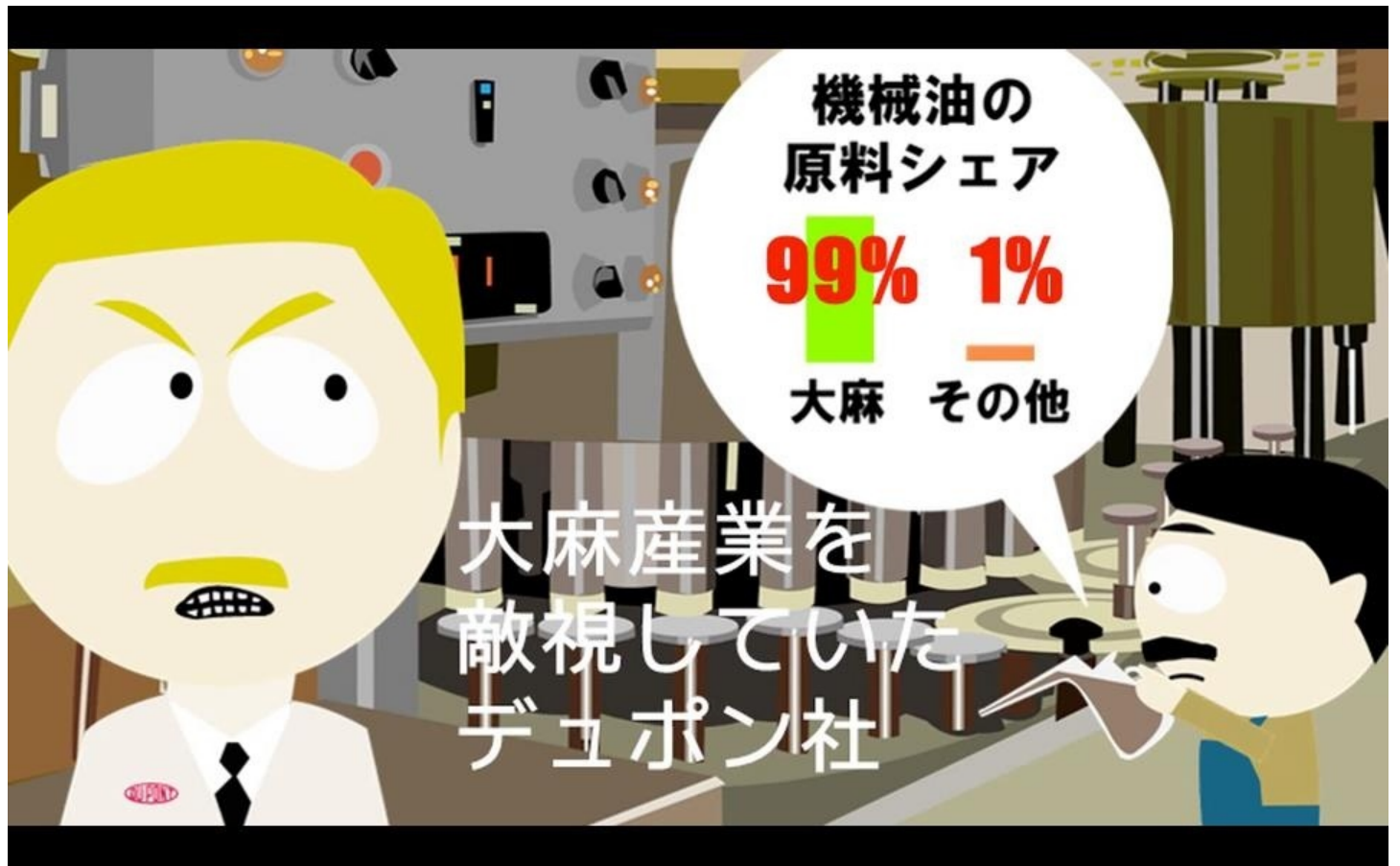
紙、繊維、食品や
医薬品として利用されていた大麻

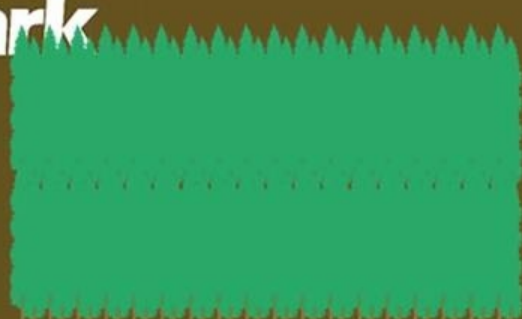


研究は進み、大麻の使用範囲は



建材や燃料、プラスチック
車のボディにまで広がります





広大な森林を所有していた
キンバリークラーク製紙会社



彼らにとっても
大麻は目ざわりでした

連邦麻薬局長官



そこへ現れた救世主

連邦麻薬局長官 ハリー・J・アンスリンガー



彼はマリファナ取締りを計画します

マリファナを違法にするぞ！



クビ寸前だった捜査官は



仕事にありつきます





麻薬取締局は

予算カットを回避

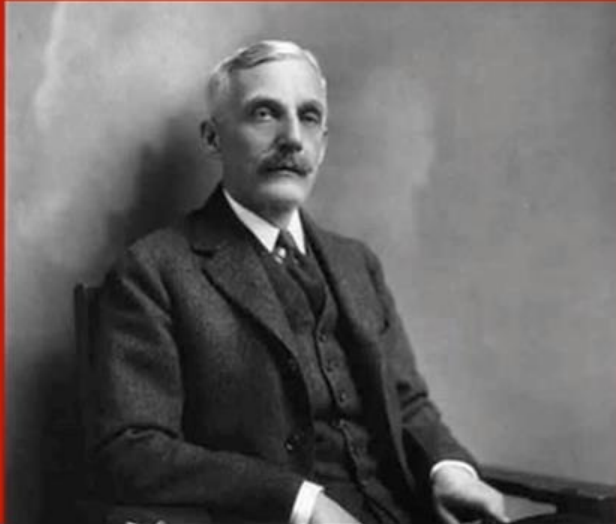




利権企業も運動に参加



アンスリンガーを任命した
財務長官も



*Andrew W.
Mellon*



デュポン社への投資家でした

メディアを私物化していた

新聞王ハースト



彼も利害が一致



DU PONT

H E A R S T

 **Kimberly-Clark**

連日
大麻に関する記事を
新聞に掲載します



殺人、事故
モラルの低下



全て
大麻のせい!!

HEARST

ANSLINGER

MELLON



彼らは映画を作って
アピールしようと計画。



制作費は利権企業が出します

THE END
TELL
YOUR
CHILDREN



“子供に聞かせなさい!”

“悪魔の恵み”



“破滅の香り”



幻覚!?

暴力!?

科学者達はこれに抗議

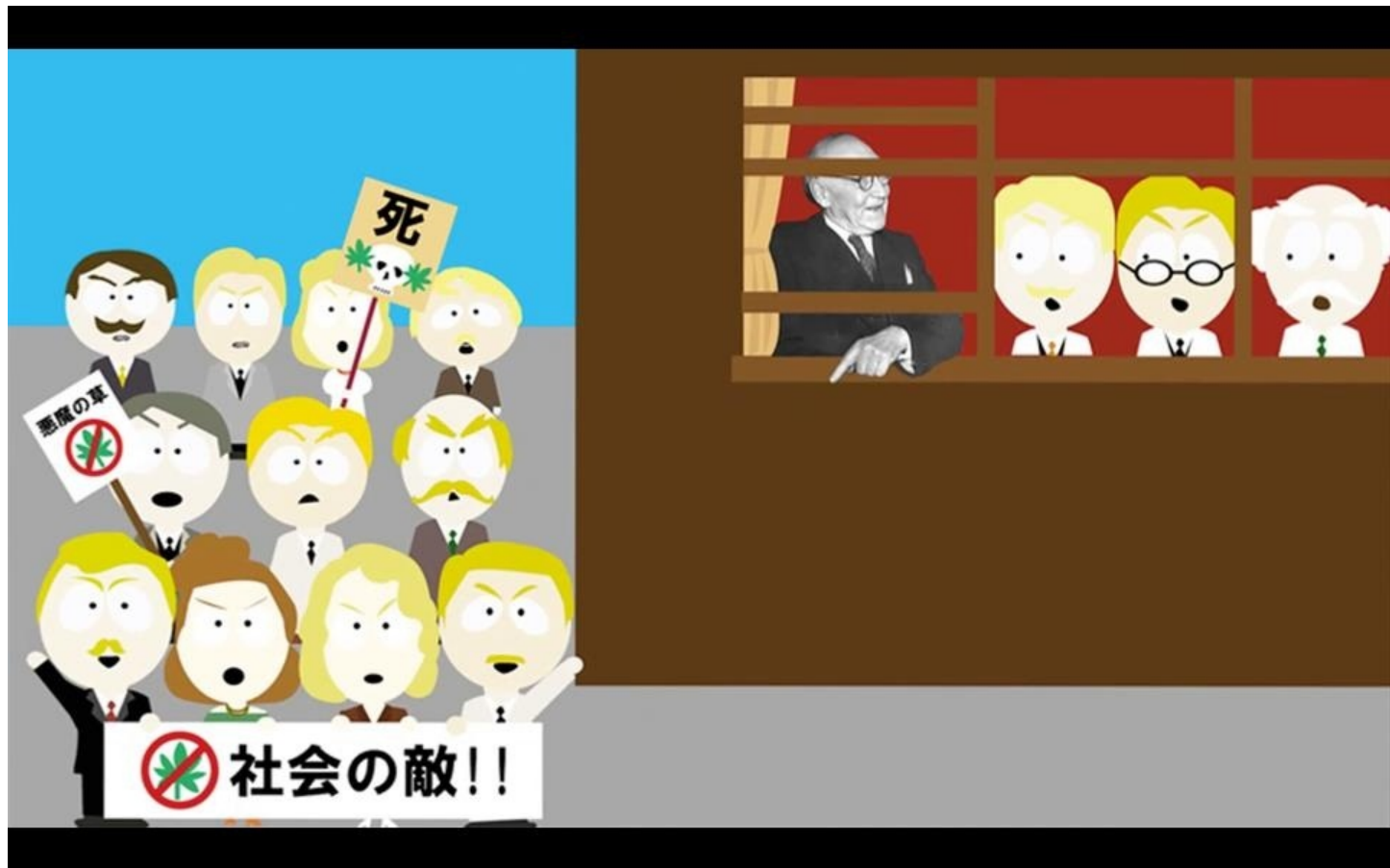


こんなデタラメ
見逃せません！



でも世論は
大麻追放ムードですよ?







*Robert L.
Doughton*

議長も
デュポンの
後援者であり



法案を 審議無しで 大統領へ提出

※このケースはアメリカの歴史上他に例が無い

FEDERAL BUREAU OF NARCOTICS 1930

1937年

大麻課税法

制定

INDIAN EMPLOYMENT ACT 1930
UNIFORM STATE NARCOTICS ACT 1925-1932

THE 1936 GENEVA CONVENTION

医療利用

嗜好品

産業利用



海外と同様、日本においても



大麻は生活に欠かせない植物でした



ぜんそくの薬、睡眠薬、
食欲増進薬としても利用され



研究は進み、大麻の使用範囲は



石油産業の拡大を目指すアメリカは



★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★
JAPANESE
SIGN FINAL
SURRENDER!
★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

大麻文化の根強い日本を
問題視します



実害のあった 覚醒剤は放置し

まずは
大麻取締法を
制定させます



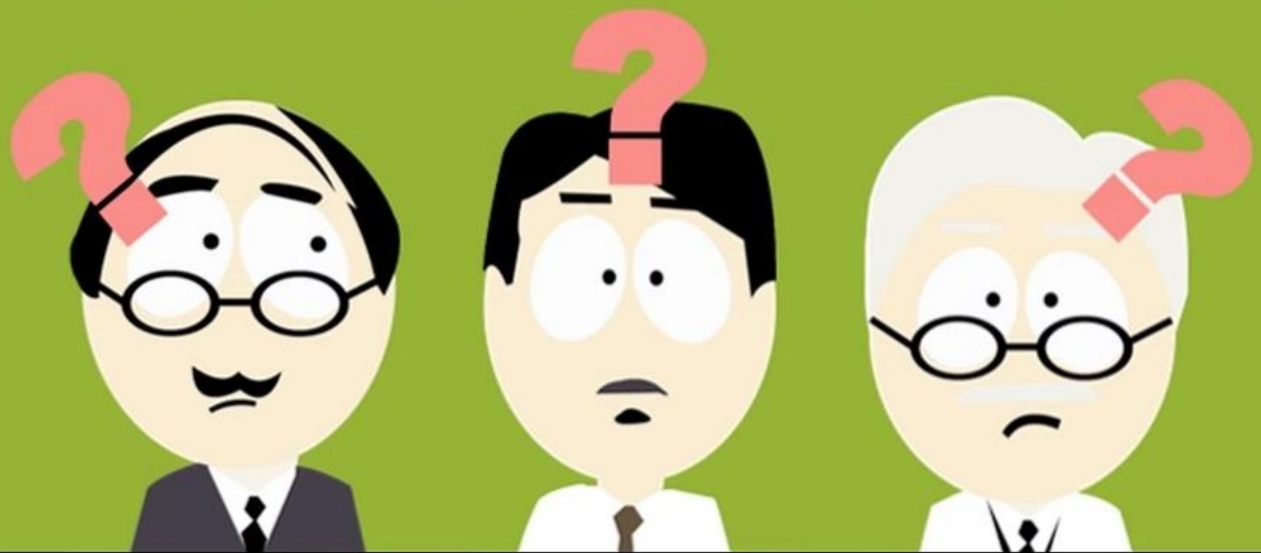
大麻の被害が
皆無だった日本は



悪



大麻を取り締まる
必要もありませんでした



そのため、条文には

大麻取締法 条文

目的

アメリカに言わない



目的が記されないまま
制定されました

大麻取締法 条文

目的

~~アメリカに言われたから~~



ポツダム省令により 栽培制限



1947年

農地: 4,000 ヘクタール
従事者: 25,000人



2010年

農地: 10 ヘクタール
従事者: 70人





戦後、数十年で日本人は

大暮と共に
暮らしていたことすら
忘れてしまいます



アメリカは
歴史の過ちを見直し



"Dun Dun" from Album
Super Pop Venezuela



Los Amigos Invisibles
[Venezuela]



議論と研究を続けています



"Dun Dun" from Album
Super Pop Venezuela



Los Amigos Invisibles
[Venezuela]





"Dun Dun"

from Album
Super Pop Venezuela



Los Amigos Invisibles
[Venezuela]



取締法の 正当化だけに 力を注ぎます



財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

"Dun Dun"

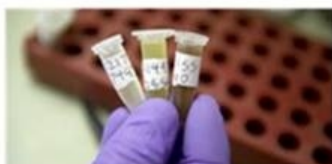
from Album
Super Pop Venezuela



Los Amigos Invisibles
[Venezuela]



具体的な ドラッグ教育は避け



"Dun Dun" from Album
Super Pop Venezuela



Los Amigos Invisibles
[Venezuela]



イメージ先行の
教育が行われます



“一度でもやったら魔人に”

"Dun Dun"

from Album
Super Pop Venezuela



Los Amigos Invisibles
[Venezuela]



合法=安全
違法=危険

いつの間にか日本人は

"Dun Dun"

from Album
Super Pop Venezuela



Los Amigos Invisibles
[Venezuela]



合法=安全
違法=危険

国に疑問を抱かなくなります

"Dun Dun"

from Album
Super Pop Venezuela



Los Amigos Invisibles
[Venezuela]



今、世界では大麻が復活しつつあります

嗜好品	医療	産業
 RECREATIONAL オランダ, ドイツ, ベルギー, スペイン, ポルトガル, チェコ, オーストラリア, アルゼンチナ, ドミニカ共和国, パラグвай, ペルー, ウルグワイ, アルバニア, ロシア, カナダ, アメリカ	 MEDICAL イギリス, スイス, オランダ, スペイン, イタリア, ドミニカ共和国, カナダ, アメリカ	 HEMP スウェーデン, デンマーク, イギリス, ドイツ, フランス, ベルギー, スイス, オーストリア, スペイン, ポルトガル, チェコ, オランダ, アルゼンチナ, アルバニア, ロシア, カナダ, アメリカ, 中国, インド, タイ
DECriminalized IN SOME STATES OR ACCEPTED BUT NOT LEGISLATED	LEGALIZED OR DECriminalized	LEGALIZED OR DECriminalized

"Mujer Policia"

from Album
Arepa 3000 :
A Venezuelan Journey Into Space



Los Amigos Invisibles
[Venezuela]



オランダだけが特別というわけではなく



マリファナ
使用者割合

6%

"Mujer Policia"

from Album
Arepa 3000 :
A Venezuelan Journey Into Space



Los Amigos Invisibles
[Venezuela]



多くの国で喫煙されています



"Mujer Policia"

from Album
Arepa 3000 :
A Venezuelan Journey Into Space



Los Amigos Invisibles
[Venezuela]





日本

1,000人に
1人 



カナダ

6人に1人 

日本では拡散が恐れられてる大麻ですが



オランダ



ドイツ



オーストリア



フランス



スペイン



アメリカ



ニュージーランド



デンマーク



イタリア



スイス



ジャマイカ



イギリス



オーストラリア

"Mujer Policia"

from Album
Arepa 3000 :
A Venezuelan Journey Into Space



Los Amigos Invisibles
[Venezuela]





日本

1,000人に
1人



36位



カナダ

6人に1人



9位

住みやすい国ランキング

International Living
2010
Quality of Life Index

(健康・治安・経済・環境・自由・文化・生活費・環境・インフラ・天候)

11位



オランダ

4位



ドイツ

13位



オーストリア

1位



フランス

17位



スペイン

7位



アメリカ

5位



ニュージーランド

16位



デンマーク

10位



イタリア

3位



スイス

77位



ジャマイカ

25位



イギリス

2位



オーストラリア

"Mujer Policia"

from Album
Arepa 3000 :
A Venezuelan Journey Into Space



Los Amigos Invisibles
[Venezuela]





「マリファナの流入で
国力が衰える」という通説は

"Mujer Policia"

from Album
Arepa 3000 :
A Venezuelan Journey Into Space



Los Amigos Invisibles
[Venezuela]





紀元前からの
長い大麻の歴史において

未だ
立証されていないようです



